

4年ぶりの開催 只見町からも参加 ふるさと交流都市柏市で「柏まつり」開催

ふるさと交流都市柏市の「柏まつり」が7月29日、30日に開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となりました。

例年、柏まつりのイベントとして開催され、只見町民も参加していた「柏おどりコンテスト」は「柏おどりLIVE」に変わり、コンテスト形式ではなくなりましたが、今回も町民や職員が只見町チームとして参加しました。

また、観光PRブースではふるさと大使の中村さんや所さん、鶴巻さん、ふるさと応援団の方々が只見町のPRにご協力くださいました。



▲柏おどりLIVEに参加した只見町チーム

只見線に子どもたちのアイデアを 「只見線こども会議事前学習会」開催



▲事前学習会に参加した子どもたち

只見線こども会議の事前学習会が7月30日に開催され、子どもたちがJR只見線の現状や課題について理解を深めました。

只見線こども会議は町民有志の只見線くろすひるずが主催しており、只見線全線運転再開から10月で1年を迎えるのに合わせ、子どもたちのアイデアを只見線の復興に生かすことを目的としています。

なお、本会義は9月16日に開催予定です。詳細については9月8日発行のおしらせばんへ掲載のチラシをご覧ください。

ただみ・モノとくらしの ミュージアム 入館者5,000人達成

昨年7月に開館した「ただみ・モノとくらしのミュージアム」の入館者数が、8月12日に累計5,000人を超えました。

5,000人目の入館者は、埼玉県からお越しの海藤めぐみさんで、海藤さんには編み細工などの記念品が送られました。



▲入館5,000人目の海藤さん。ご来館ありがとうございました

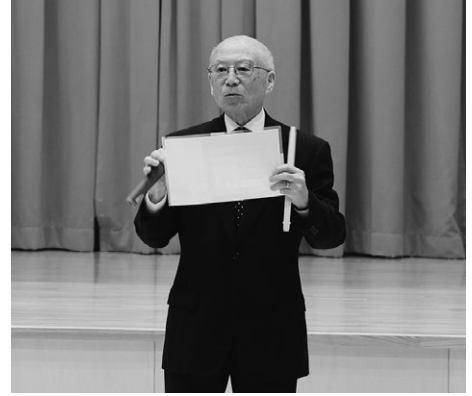
幕末最後のサムライ 河井継之助をしのぶ

「河井継之助墓前祭」、「河井継之助を語る会」が行われました

「河井継之助墓前祭」が、河井継之助の命日となる8月16日に塩沢医王寺で行われました。

墓前祭は、渡部仁一実行委員長から、関係者や参列者へのお礼の言葉が述べられた後、焼香や読経が行われました。その後、渡部町長から追悼の言葉が述べられました。

また、墓前祭終了後は、「河井継之助を語る会」が只見公民館で開催され、飯塚恒夫さんの発声で献杯が行われました。その後、渡部町長や、長岡藩主17代当主の牧野氏、慈眼寺住職などが河井継之助に対する思い等を話されました。



▲河井継之助を語る会にご参加された牧野氏

生誕百年皆川雅舟展に墨雅会員が来館

墨雅会の皆川恭舟代表から町に寄附



▲渡部教育長に寄附金を贈られた皆川代表

墨雅書道会（郡山市）の皆さんが、ただみ・モノとくらしのミュージアムを訪問し、現在開催中の企画展「生誕百年 皆川雅舟展」を観覧しました。

墨雅書道会の皆さんは、作品一点一点を関心深くご覧になりました。

また、来館された際に、墨雅会の皆川恭舟代表から、「ミュージアムの運営と文化振興に役立ててほしい」と町に寄附金が贈られました。

墨雅書道会は、皆川雅舟（政一郎）氏が創設した組織で、現在は皆川恭舟氏が代表を務めています。

子どもたちの頑張りが届きました

剣道スポ少、ソフトボールスポ少 優勝

只見剣道スポーツ少年団は、第53回シモン旗争奪全会津少年剣道大会団体1部で優勝しました。また、只見ソフトボールスポーツ少年団は、第1回全会津小学生男子交流ソフトボール大会で優勝しました。

優勝おめでとうございます。これからも練習に励み、快進撃を続けてください。



▲優勝した剣道スポーツ少年団（左）とソフトボールスポーツ少年団（右）

地域環境の美化活動が認められました

明和婦人会「“うつくしま、ふくしま。”環境顕彰」受賞

明和婦人会が「“うつくしま、ふくしま。”環境顕彰」を受賞し、8月17日に受賞報告に役場を訪れました。

今回の顕彰では、明和婦人会が「フラワーライン作戦」と題し地区内の通学路など公共道路沿線に花を植える活動を行い、地域環境の美化活動に積極的に取り組んでいることや、長年の活動期間などが認められ受賞となりました。



▲受賞報告に役場を訪れた大竹やいさん(中)、梁取芳枝さん(左)

満百歳を祝う 渡部敏子さんに知事賀寿を贈呈



▲渡部敏子さんご家族の皆さん

渡部敏子さん（黒沢）への知事賀寿贈呈式が8月17日に行われました。知事賀寿は、県内で百歳の誕生日を迎えた方に贈呈されており、渡部さんは8月15日で百歳を迎えました。

贈呈式では、県の南会津保健福祉事務所から賀寿状と会津塗木杯が贈呈された後、渡部町長をはじめとする町内の皆さんから祝金や祝品が渡されました。

渡部さんの長生きの秘訣は、大好きな食事を好き嫌いなくしっかり食べることで、他にも歌や話すことが好きで、皆さんと会話を楽しまれるそうです。

本当におめでとうございます。

八十里越の早期開通を願って

第10回「R289フルコース踏破」開催

4年ぶりとなる「R289フルコース踏破事業」が、7月29日、30日に開催され、三条市と只見町の高校生24人が新潟県庁からいわき市勿来の関までの区間約300kmを自転車で踏破しました。

ゴール地点に着いた高校生たちは、その場にいた皆で達成感を感じ、踏破成功を喜び合いました。



▲懸命にタスキをつなぎました



▲晴天の夏空の下、自転車をこぐ高校生

希少なバッタも観察しました

ブナセンター自然観察会「夏のバッタ観察会」開催

「河原のバッタ観察会」が7月24日に、「草原のバッタ観察会」が7月30日に、それぞれ只見町ブナセンターの主催で開催されました。

河原では、河川改修工事により、全国的に数を減らしているカワラバッタを観察し、草地では、山間部のバッタであるイナゴモドキや、自然度の高い草地でしか見られないナキイナゴを観察することができました。また、このような珍しい種だけでなく、オオカマキリやトノサマバッタなどの大型種も見つけることができ、子供たちは夢中になって採集していました。

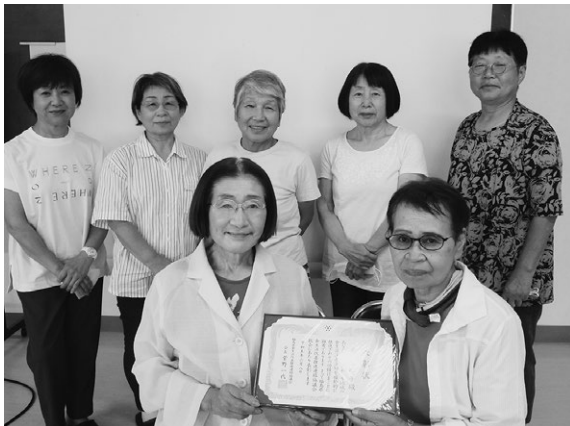


▲バッタを採集する参加者

長年の健康づくり活動が認められました

星美弥子さん「福島県食生活改善推進

連絡協議会会長表彰」受賞



▲受賞した星さん（前段左）と只見町ヘルスマイトの皆さん

星美弥子さん（小林）が「福島県食生活改善推進連絡協議会会長表彰」を受賞され、贈呈式が8月3日に朝日公民館で行われました。

星さんは只見町食生活改善推進委員会の会員として、町の健康づくり活動を20年以上にわたり尽力され、平成28年から令和2年までは、副会長、会長を務められました。その長年に渡る積極的な健康づくり活動が評価され今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。

4年ぶりの開催「明和地区大盆踊り」開催

「明和地区大盆踊り」が8月15日に明和青年団の主催で開催され、帰省者をはじめ町内外多くの方が来場しました。

会場では、明和青年団や商工会青年部、味付マトンケバブカフェの協力による出店などが来場者をお迎えし、只見中学生がお囃子の演奏をするなどしました。

また、恒例のお楽しみ抽選会が行われた他、最後には目黒邦友さんの協力で花火が打ち上げられ、只見町の夏の夜空を彩りました。



▲大勢の方がご来場されました